



かがわ看護だより

120

令和5年1月1日

令和5年1月1日現在 会員数

7,645名

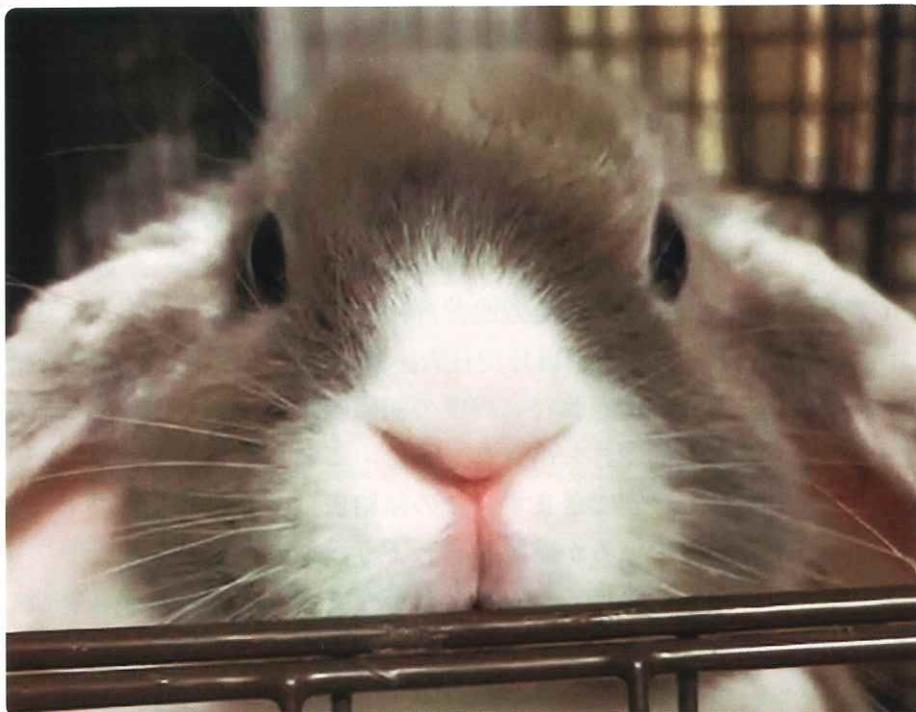
- 保健師 210名
- 助産師 305名
- 看護師 6,928名
- 准看護師 202名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4

TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071

<https://kagawa-kango.com>

発行責任者/安藤 幸代



2023年度 干支 うさぎ (撮影:田所)

《目次》

新年のご挨拶	2
新年の抱負 職能委員長の抱負	3
支部長の抱負	4
認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して	5
令和4年度 香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講して	5
医療安全のためのコミュニケーション	5
新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修	6
新型コロナウイルス感染症禍での認知症高齢者への看護実践	6
感染管理認定看護師教育(特定行為研修を組み込んでいる) B課程	7
感染管理認定看護師等派遣実績	7
理事会報告/寄付報告/2023(令和5)年度 会費納入について/ お知らせ/編集後記	8





新年のご挨拶

公益社団法人香川県看護協会
会長 安藤 幸代

新春のお慶びを申し上げます。

日頃から香川県看護協会の活動にご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は発生から3年を経過した今も変異し持続中です。いつまで続くかわからない感染症と毎日闘っておられる看護職の方々に、感謝と敬意を申し上げます。

さて、2022年10月から「看護職員処遇改善評価料」が新設されました。この項目が対象になるのは県内では25病院です。しかし、11月18日人事院は「国家公務員医療職俸給表（三）」を見直し①管理的立場にある看護師の処遇改善②高度の知識経験に基づき困難な業務を処理する看護師の位置づけの明確化と処遇改善が打ち出されました。これらは日本看護協会がかねてから要望していたことに沿うものとして評価できます。この俸給表は多くの施設が参考にしていますので、各施設の賃金制度がどうなっているか確認しましょう。この見直しをキャリアアップに伴う処遇改善に結びつけるため自施設の給与表と照らし合わせてどう読み込むか各施設の取り組みに期待しているところです。小さな一歩ですが看護師確保定着戦略となる有用なステップです。看護協会も処遇改善キャンペーンを実施します。

医師の働き方改革は2024年から実施されます。各施設でのタスク・シフト／シェアは進んでいますか？日本看護協会は「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」を2022年6月に発行しています。国民に必要な医療が安全かつより一層タイムリーに提供されるよう看護の専門性の発揮ができる取り組みの参考としてください。

香川県看護協会での2022年度長期研修として、認定看護管理者教育課程ファーストレベル（受講者54人）、実習指導者講習会（受講者45名）を実施しました。実習指導者講習会は昨年からeラーニングを取り入れ集合期間を短縮するなど、コロナ禍にあった研修になっています。参集研修でも濃厚接触者の可能性などで参集できない場合はZoomでの参加と看護協会の対応も変化しています。職場を離れ学習することや、教育に対する新鮮な学びは受講生に大きな刺激となったようです。参加された皆さんの努力はもちろんですが、派遣していただいた施設の方々への感謝も忘れないようお願いします。

さらに、香川県看護協会は2023年9月から感染管理認定看護師教育（B課程）を開設する予定です（7ページ参照）。今後も発生する感染症に対応する看護師を養成するため、香川県行政や県内施設の絶大なご協力・ご支援で開講できることになりました。感染管理に興味のある看護職の皆様はこの機会をチャンスととらえ、応募をお待ちしています。

変化の多い時代、コロナの長期化による忍耐の時期ではありますが、看護への熱い気持ちを忘れず日々のケアにがんばりましょう。

本年が皆さまにとって、幸せな年になりますようにお祈りしております。

新年の 抱負

明けましておめでとうございます。

昨年も、コロナ禍の中で、看護協会活動も思うようにできませんでした。新年を迎え、「今年こそは!」と、新たな活動も考えながら取り組んでいたごとうと職能委員長さんや支部長さん方に抱負を語っていただきました。

職能委員長の抱負

保健師職能委員会

委員長 大平 明美

8月をピークとした新型コロナウイルス感染症の第7波では、予想をはるかに上回る患者発生で対応は困難を呈しました。が、IHEAT派遣や市町保健師の応援、関係機関との連携・協働のおかげで波を乗り切ることができました。職能の繋がりや有難さ、パワーを感じる日々でした。

そのような中、コロナ禍で悪化した健康課題や地域保健活動の縮小化の影響に対して、今後はWithコロナ政策の中、取り組むことが重要だと思っています。

保健師職能委員会では、職域を超えた新任保健師研修会・交流会を2回開催し、集うことで顔の見える関係をつくり、学び合い・育ち合いができるようにサポートしていく所存です。私達、先輩保健師自身も各々の組織全体で、ビジョンをもった人材育成に取り組んでいきたいと思っています。



看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

委員長 熊野 知恵

3年間近く苦しんだ新型コロナウイルスによるパンデミックは、私たちに様々なことをもたらしました。対面でのコミュニケーションの制限が看護活動に及ぼす影響と工夫、Webでの会議や研修などのIT化による効率化など、これらは、医療・看護のDX（デジタルトランスフォーメーション）の可能性を示唆しているように思います。

地域の基幹病院や行政がそれぞれの役割を意識し地域包括ケアシステムを推進するうえで、必要な看護連携体制の課題も明らかになりました。アフターコロナが見えかけている今こそ、職能最大数である我々看護師は、組織としてのエンゲージメントだけでなく、組織や領域を超えた“真の連携”を目指し、新たな活動に挑戦していきたいと思っています。



助産師職能委員会

委員長 阿部 慈

令和3年は、「母子のための地域包括ケアシステム」推進に向け、アドバンス助産師が中心となり各施設で積極的な活動を展開しました。新型コロナウイルス感染拡大により、安心・安全な出産環境を調整することが難しくなりましたが、助産師の力を結集することで多くの危機的状況を乗り越えることができました。このような中でも、新人助産師研修、中堅期助産師研修には多くの方にご参加いただき、新たな知識を得ることの面白さを改めて感じる機会となりました。

助産師職能委員会では、①病院と地域保健師との連携強化、②助産ケア実践力向上に向けた取り組みを展開しています。この取り組みの成果を、県内助産師の皆さまと共有することができますよう、職能委員メンバーで活動を推進してまいります。



看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 山西 育子

新型コロナウイルス感染症第8波を迎え感染が蔓延する中、会員の皆様には、発熱外来や入院患者、クラスターの発生、ワクチン接種等の対応にご尽力下さり、心から感謝申し上げます。

今年度、看護師職能委員会Ⅱでは、看取りケア検討会、認知症対応力向上のための企画検討会の二つの検討会を置き、高齢者介護施設、訪問看護ステーション、診療所等で働く看護師の支援を行っています。

令和4年12月に認知症のBPSD（認知症周辺行動）への対応と、認知症などで意思表示が困難な利用者のACPについての研修を企画し、交流会で意見交換を行い、認知症の方に対する普段のケアや言動についても一度確認すること、ACPを全体で共有し情報をつなげていくことの大切さについて学ぶことができました。

今後も、地域包括ケアシステム推進に向けて、会員の皆様からのご意見、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



支部長の抱負

【第4支部長 菊岡 純子】

地域の実情を鑑み、組織を超えた円滑な情報共有や連携・協働を目指し、支部活動に取り組んでいきたいと考えています。昨年は、まちの保健室（塩まつりへの参加）や「本人の意向を尊重した意思決定支援」をテーマに研修・交流会を開催するなど、少しずつではありますが支部活動を再開することができました。今後も地域全体で協力して支え繋げられるようにニーズに応じた企画をし強化を図ってまいります。



【第3支部長 原渕美千代】

地域のネットワーク会議に参加して地域の課題を共有することはできましたが、看護職と地域住民との交流の機会を持つことはできませんでした。今年もコロナ禍で地域の行事は未定ですが、看護職連携交流会を通して地域の看護職とのネットワークづくりを強化していきたいと考えています。そして、看護職が自施設の地域での役割を認識できるように協力していきたいと考えています。



【第2支部長 山田 寿美】

小豆医療圏地域包括ケア連絡会介護部会と地域包括ケアシステムの構築に向け共に活動をしています。今年も3年前から目標に掲げている、アドバンス・ケア・プランニングの啓発に努めてまいります。そのためには介護部会との連携は欠かせませんので、会議の方法などを工夫し多職種連携を強化していきたいと思います。引き続き意志決定支援におけるスキルアップ、看護職の役割強化、島民の方々のニーズに合った研修会などを企画していきます。

今年も、ご支援ご協力の程よろしく願います。



【第5支部長 福屋 純子】

日頃より支部活動にご協力いただきありがとうございます。今年も引き続き新型コロナウイルス感染症により弊害となっている看護や管理に着目し、現場で活かせる取り組みを心がけていきたいと思っています。新年早々に「コロナ禍におけるがん患者の支援を考える」をテーマに交流会を開催予定です。ご参加お待ち申し上げます。



【第7支部長 守谷 正美】

新型コロナウイルス感染症が流行しはじめ3年経ち、徐々にWithコロナ時代に入ってきたと感じます。それに合わせ令和4年は当初の計画通り支部総会や地域包括ケア交流会を開催しました。感染症対策は引き続きの課題ですが、当支部では今後懸念されている南海トラフ大規模地震への備えと連携について交流会を持ちました。令和5年は大規模災害時の感染対策を含め、災害発生後のBCPについて検討するとともに、連携強化を図りたいと考えています。



【第6支部長 多田 清美】

昨年は、7波、8波とCOVID-19の影響もありましたが、支部での地域交流会を通して、地域における看護の現状やニーズ、課題を共有し、より地域とつながる活動を目指してまいりました。参集での活動には至りませんでしたが、今年は、Withコロナに対応すべく、更なるネットワークの充実を図り、課題を踏まえた地域活動で継続した支援へつなげていけるよう計画的に取り組むしていきたいと考えています。



【第1支部長 赤松美智代】

未だ新型コロナウイルスの感染状況は終息の兆しも見えませんが、令和4年はコロナ禍だからこそ地域における自施設の役割を理解し協力しあえるよう、情報共有や意見交換を行うことが必要と考え交流会の開催を行いました。令和5年は更に支部活動を通して地域包括ケアシステムのネットワークを強化するとともに、地域住民への健康相談など地域活動への参画も再開できるよう取り組んでいきたいと思っています。



認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して

高松赤十字病院 田中 香里

私の受講動機の一つは、私が感染管理認定看護師だからです。認定看護分野の中で、「管理」がつくのは感染管理認定看護師のみであり、感染の領域だけでなく看護における管理を学ぶ必要があると思ったからです。もう一つの動機は、約3年前に感染管理の教育課程で学んだ看護管理の講義が大変興味深く、さらに深く学びたいと思ったからです。感染管理認定看護師としての責務を果たすため今回受講した研修では、多くの学びを得ることができました。看護管理として、私を知りたいと思っていた管理の知識を学び、それを現場での問題解決方法として活用することができています。そして一番の収穫は、他施設の受講生とのディスカッションにより、自部署の課題について

自分の思いを乗せて言語化できるようになったことです。例えば、組織管理論で実践した自施設の現状分析や課題の明確化は、机上のレポートとしての思考とディスカッションにより他者に言語化して説明する時の思考では少し違うことがわかりました。ディスカッションにより言語化した思考の方が、自分がしたいと思っていることにより近く、熱く語る事ができると感じています。今回の受講は、私に管理の知識習得と課題解決への熱意を与えてくれたとともに、受講修了後から、現場での実践のはじまりであるため、まずはこの熱意を持続させられるよう自己管理に努めていきたいと思っています。

令和4年度香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講して

香川大学医学部附属病院 浅野 幸子

26日間の香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講させて頂きました。前半の講義では、教育の基礎から看護教育の変遷、現在の看護教育の実際、実習指導者に求められている事など、実習指導を行うにあたり必要な新たな知見を学ぶ事ができました。特に、臨床判断能力の育成については、何度もポイントとして挙げられており、実習指導者の役割が大きいと実感しました。後半のグループ討議では、実習指導案の作成に取り組みました。指導案作りは、各個人が過去の実習指導経験をリフレクションする事から始めました。指導の状況や問題点を討議する中で、今まで気づいていなかった指導の視点を発見することができ、指導の上でもリフレクションは重要であることを

実感しました。指導案作りは大変でしたが、受講生で協力し、実践に生かせる指導案を作成する事ができたと思います。今回学んだ事を、各々の施設のスタッフとも共有し、実習が学生にとって、意義のある学びの場となるよう貢献していきたいと思っています。



医療安全のためのコミュニケーション

安全管理ネットワーク委員会

チームで取り組む患者安全推進策である、TeamSTEPPS® (Team Strategies To Enhance Performance and Patient Safety)：医療の成果と患者安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法)やWHOの患者安全カリキュラムガイドで紹介されているコミュニケーションツールの一つを紹介します

口頭指示の解釈間違い

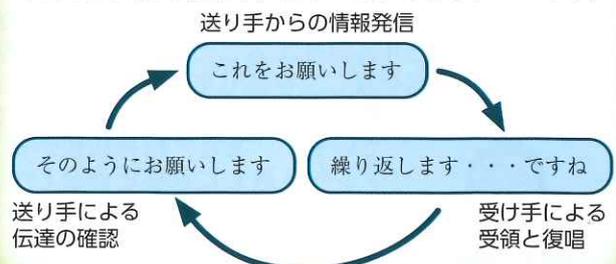
口頭指示や依頼をした際、意図した内容が受け手に伝わらず、間違っして解釈した事例が報告されています。

意図した内容	間違っして解釈した内容
執刀医 (胃管を) 抜いてください	麻酔科医 (胃の空気を) 抜いてください
医師 (喉まで挿入したが、上部消化管の) 検査をしていない	看護師 検査をしていない (ため内視鏡は使用しなかった)
医師 検査当日、薬 (アスピリン) を飲ませてください	看護師 検査当日、(前投) 薬を飲ませてください
看護師 塩化ナトリウム注10%を (端末に) 打ってください	研修医 塩化ナトリウム注10%を (患者に) 打ってください

公益財団法人 日本医療機能評価機構医療安全情報 No.102 2015年5月より引用

チェックバック

3ウェイ・コミュニケーションとも呼ばれる方法で、送り手が発信した情報が確実に受け手に伝わるようにするために、誰でも簡単に行うことができるツールです。



口頭による指示や依頼を受ける際には、チェックバックを活用し対象物を復唱して確認しましょう

新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修

日本看護協会及び都道府県看護協会・ナースセンターでは、COVID-19対応のために全国の潜在看護職等に復職をよびかけ、約21,000名の看護職がワクチン接種業務に従事されました。香川県ナースセンターでも120名がワクチン接種業務従事希望者リストに登録し、研修受講後に各地域のワクチン接種会場等で現在も従事していただいています。未だ収束が見えない中、今後の更なる活躍や感染症対応看護職員等の人材確保のために、リスト登録者を対象としたスキルアップ研修を実施しました。



11月17日（木）COVID-19の基礎知識や治療・看護についてのオンデマンド研修を開催し、16名が受講しました。午後からは、綾田医院 院長 綾田潔先生、かがわ総合リハビリテーション病院 感染管理認定看護師 門田弘光氏に、香川県における治療の現状や感染管理についてご講義いただきました。11月30日（水）には、急変時の看護として、香川労災病院 急性・重症患者看護専門看護師 石川祐樹氏に演習を含めた講義をしていただき、14名が受講しました。受講した方からは、COVID-19に対する医療・看護の現状を学び、またPPE着脱やBLS演習等を実際に行うことで、理解していたつもりでいたことを再認識することができ、実践に活かすことができるとい声がかれ、自信につながる有意義な研修となりました。今後も継続的なスキルアップを図り、復職への一歩となるよう支援してまいります。

香川県ナースセンター 曾根 美沙

新型コロナウイルス感染症禍での認知症高齢者への看護実践

高松赤十字病院 認知症看護認定看護師 大西 力

認知症高齢者にとって入院自体が危機的状况であり、感染症対策が行われている環境下ではさらに精神的なストレスが大きくなります。入院初期における混乱への対応が重要となるため、見当識への支援として環境調整（入院理解を促す張り紙、カレンダー、時計の設置）、患者の理解を得るために医療用語を使わずにわかりやすく易しい言葉を用いたり、マスクにより表情や言葉が伝わりにくいためジェスチャーも活用したりしています。

直接面会ができない代わりに携帯電話を効果的に活用したり、患者の悩みや気がかりに迅速に対応し解決を図ることで、医療者との信頼関係が高まり、患者の安心に繋がっています。また離床・自立支援を進めることで意欲向上に働きかけることができている。そして可能な限り院内デイケアを実施し、最近始まったオンライン面会などを通して患者の療養生活支援に取り組んでいます。

今後も患者の想いに寄り添い、笑顔のある安心で安楽な療養環境となるよう看護実践を行っていきたいと思っています。



さぬき市民病院 認知症看護認定看護師 矢木可奈子

新型コロナウイルス感染症が流行し約3年が経過しています。認知症高齢者は入院に伴う環境の変化により不安を訴えたり、混乱することがあります。感染症対策である面会制限に伴い自由に家族に会えないことで更に疎外感や寂しさを感じています。安心して療養できるように患者本人が使っていた馴染みの日用品や、家族の写真を持ってきてもらう等、安心して療養できるように環境調整を行っています。また、精神状態が落ち着かない患者や帰宅願望が強い患者に対しては、タブレット越しに家族と面会してもらったり、それでも落ち着かない患者には、危険がない範囲で見守りを行いながら、納得するまで寄り添うようにしています。また、病院という閉鎖的な空間で過ごさなければいけないため、マスクや手洗い、換気など感染症対策を行いながらも、少しでも季節を感じてもらえるよう四季折々のイベントを行い、楽しいと感じられる時間を過ごしてもらっています。



皆さんの応募を
お待ちしております！

申請中

令和5年9月1日開講！

感染管理認定看護師教育(特定行為研修を組み込んでいる)B課程

～香川県内で働きながら学べる環境～

教育
機関

公益社団法人香川県看護協会
集合研修会場：香川県看護協会看護研修センター
実習：県内9施設

教育
期間

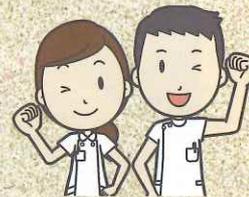
令和5年9月1日(金)～令和6年6月28日(金)
・9月2日～1月上旬は、主にeラーニング授業(自宅学べる環境)
eラーニング授業の期間中に科目試験のための登校日
(2～3日間程度)を、2回程度予定
・後半は、集合研修や病院等での実習

募集
人員

15名

入学
試験

筆記試験・面接試験



出願
資格

受験申請にあたっては、次の各項に定める要件を全て満たしていること

【必須要件】

1. 日本国の看護師免許を有する。
2. 看護師の免許取得後、通算5年以上^{注1)}の実務研修^{注2)}をしている。
3. 前項の年数のうち通算3年以上^{注3)}、以下の実務研修をしている。
 - ①通年3年以上、感染管理に関わる活動実績(感染対策委員会、ICT、リンクナース会等)を有すること。
 - ②感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。
4. 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。
5. 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。

注1)令和5年9月1日入学時点で、看護実務経験が60か月以上であることを意味する。

注2)実務研修とは、平成19年7月に厚生労働省によって認定看護師が専門性の広告を認可された際、認定看護師の要件に実務研修という表現を使うことが決定した。

注3)通算3年以上とは、令和5年9月1日入学時点で、通算36か月以上を意味する。

【留意点】研修期間が皆勤できる配慮を所属長と十分相談できていること。

出願
期間

令和5年6月1日(木)～6月23日(金)17時まで(当日消印有効)

ICNさんが、自施設以外の
このようなところでも活躍
されています！

感染管理認定看護師等派遣実績(令和2年度～令和4年11月)

1 クラスターが発生した施設等

	派遣回数			合計
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(※2)	
香川県からの依頼(※1)	—	30	70	100
高松市からの依頼	51	18	47	116
計	51	48	117	216

※1 香川県からの依頼分は、ICN等に直接派遣依頼。高松市からの依頼分は、委託契約により看護協会が派遣調整の実施

※2 令和4年度は4月～11月30日までの実績

2 特別養護老人ホーム(多床室を有する施設)への感染管理認定看護師の派遣調整

指導希望施設33か所に感染管理認定看護師の派遣調整(県・高松市)
・22か所は令和2年度、11か所は令和3年4・5月に実施

3 保育所、放課後児童クラブへの感染管理認定看護師の派遣事業(令和2年度)

実施か所：13か所(7市2町) 受講者：180名

4 障害者支援施設への感染管理認定看護師派遣事業(令和3年度)

- 1) 県内障害者支援施設のうち、派遣希望施設 14施設
- 2) フォローアップ研修会の開催 令和3年12月11日(土) 10時～12時 参加者：23名

理事会報告

第5回 令和4年12月3日(土) 9:00 ~ 12:00

●協議事項

1. 令和4年度第2四半期会計報告(案)、監査報告について(承認)
2. 香川県看護協会令和5年度年間行事予定(案)について(承認)
3. 令和5年度教育計画(案)について(承認)
4. 「看護の日・看護週間」記念講演の講師(案)について(承認)

寄付報告

東洋羽毛中四国販売(株)高松営業所様より香川県看護協会にご寄付をいただきました。感謝申し上げます。

2023(令和5)年度 会費納入について

日本看護協会から届いている「継続のお知らせ」に記載されている「会費納入方法」をご確認いただき、納入をお願いします。

口座振替	会費の第1回目の引落日は、令和5年1月27日(金)です。 口座振替依頼書に記入した口座の残高確認をお願いいたします。 なお、残高不足等で引落ができなかった場合は、後日、ご自宅へ届く「コンビニ払込用紙」で納入ください。
勤務先で取りまとめて納入(※)	勤務先の担当者様にご確認ください。 担当者様は日本看護協会が指定する「施設の専用口座」へお振込みください。
銀行振込・コンビニ収納(※)	「継続のお知らせ」に同封されている「振込・払込用紙」でお振込・支払ください。

(※) なるべく令和5年1月20日(金)までに納入ください。

お知らせ

専門職能団体 看護協会への入会を!!!

1 第38回香川県看護学会の追加募集!!

多数の申し込みをお待ちしております。
開催日時: 令和5年1月29日(日) 8:55 ~ 12:30
申込締切: 令和5年1月13日(金)まで

2 令和4年度 医療安全管理者養成研修 フォローアップ研修・交流会

日時: 令和5年2月4日(土) 9:30 ~ 12:30
場所: 香川県看護協会 看護研修センター

3 香川県看護協会事業活動実践報告会

日時: 令和5年3月4日(土) 13:00 ~ (予定)
場所: 香川県看護協会 看護研修センター

4 令和5年度 香川県看護協会定時総会・ 職能合同交流集会、合同委員会の日程が 決まりました。

定時総会・職能合同交流集会 6月18日(日)
合同委員会 6月24日(土)

研修会・行事等の変更・中止の場合は、
ホームページに掲載いたします。

5 キャリナースへの登録をお願いします!

香川県看護協会会員の登録者数は1,953名です。
(2022年12月15日現在)
キャリナースは会員の皆さま専用
WEBページです。ご登録いただき、
ご活用ください。



6 自動販売機の設置場所が変わりました!!

令和4年11月に3階の自動販売機は撤去いたしました。
なお、自動販売機の設置場所は2階のフロアのみとなりますのでご利用ください。



編集後記

2023年は癸卯の年です。去年までで様々なことの区切りがつき次へと向かっていく、成長の年といえます。今年も皆様に興味、感心をもって頂けるよう情報をお届けしたいと思います。ご意見ご要望、写真をお寄せくださいますようよろしくお願いいたします。

